



は、今年度も特別支援教育支援員を3名採用し、町内の特別支援学級の在籍校へ配置することにより、子ども一人一人の能力や可能性を最大限に生かした教育の一層の充実を図ります。

信頼される学校づくりを実現させるためには、各学校において「学校改善プラン」を作成し、その具現化に向け、教職員が一致協力して学校課題に取り組んでいくことが大切です。また、学校協議員や学校支援ボランティアなどの連携、協力体制を確立し、教育活動の公開と教育情報の提供を通し、地域や保護者の思いや願いを受け止め、地域に開かれた学校づくりを進めます。

少年活動については、少年期は心身ともに調和のとれた人間形成の基盤を築く大切な時期であり、本町の「豊かな自然」の体験学習などを通じて「協力すること、我慢すること、感謝すること」などの大切さを学ぶ事業を地域子ども会育成連絡協議会などの協力を図りながら進めます。

青年活動については、地域の

担い手としての資質向上のため、青年たちが独自に企画し進める社会貢献活動やピュアモルトクラブハウスを拠点に開催される交流・学習などの支援と青少年人材育成事業を進めます。

成人活動については、既存の町民ホールを中心として開催する教室に加え、地域資源の再発見などをテーマとする生涯学習講座を開催し、心の豊かさを実感できる事業の充実と、学習者自身が自主的に学習するサークル活動などの支援に努めます。

また、**女性活動**は女性の持つパワーと団結力を活かして実施されている女性まつりやボランティア活動などの支援と裾野の広がりを進めます。

高齢者活動については、生涯健康で充実した生活を送るための活動支援・異世代交流・異文化体験を高齢者学級「白寿大学」を開講し、進めます。

芸術と文化については、自主的な文化・芸能活動の発表の場として実施される町民文化祭ではレベルの向上と出展作品数が増加しており、さらなる充実を図るとともに、広く芸術鑑賞な



は、今年度も特別支援教育支援員を3名採用し、町内の特別支援学級の在籍校へ配置することにより、子ども一人一人の能力や可能性を最大限に生かした教育の一層の充実を図ります。

信頼される学校づくりを実現させるためには、各学校において「学校改善プラン」を作成し、その具現化に向け、教職員が一致協力して学校課題に取り組んでいくことが大切です。また、学校協議員や学校支援ボランティアなどの連携、協力体制を確立し、教育活動の公開と教育情報の提供を通し、地域や保護者の思いや願いを受け止め、地域に開かれた学校づくりを進めます。

少年活動については、少年期は心身ともに調和のとれた人間形成の基盤を築く大切な時期であり、本町の「豊かな自然」の体験学習などを通じて「協力すること、我慢すること、感謝すること」などの大切さを学ぶ事業を地域子ども会育成連絡協議会などの協力を図りながら進めます。

青年活動については、地域の

ます。

学校給食については、食の安全・安心に十分に努めていくとともに、地産地消の推進に取り組めます。また、給食費についても昨年同様一部を町が負担し、保護者の負担軽減を図ります。

また、鹿追高校1年生を対象にした**カナダ短期留学事業**については、実践的なコミュニケーション能力や国際感覚を身に付けた生徒を育成していくとともに、小中高一貫した「カナダ学」の集大成の場として生かしていくことで、鹿追高等学校の魅力ある学校づくりへとつなげていくものであり、これまでに多くの成果をあげています。今後も継続して実施します。

就学前教育・保育については、既存の幼稚園と保育園・保育所という枠組みを超え、子どもたちの成長にとって最善と思われる教育・保育体制の確立のため、今年度も継続して調査・研究に当たり、幼児期にふさわしい環境構成を工夫し、小学校教育との円滑な接続に努めます。

自然体験留学事業については、地域や瓜幕小学校、瓜幕中

学校との連携を一層強化しながら、子どもたちの健やかな成長を図っていくとともに、教育活動の充実や地域の活性化へと寄与します。

社会教育

次に**社会教育**の推進について申し上げます。

社会教育の推進は、個人の要望に応じた学習支援だけのものにとどまらず、社会の要請にもとづく学習支援の形成を目指し、地域住民として対処することが必要な課題の学習と、課題解決のための活動を地域住民の参画を促しながら効果的に推進することが望まれています。

地域資源を活かし、町民の皆さん一人ひとりの生涯にわたる学習意欲を高め、豊かな心と自立の力を育て、人と人との連携するまちづくりを推進します。

具体的には、町民ホールなどの活動の核となる施設の活用と町民の主体性が発揮される学習機会の創造を促し、学習の成果が新たな学習要求への連鎖を生み出すような、学習と実践の循環



どの機会を提供します。

神田日勝記念美術館については、全国から多くの応募により実施される馬の絵作品展や展覧会事業を実施し、文化振興の拠点施設として町民の利用を促すとともに、観光資源としての美術館を全国に発信します。

図書館については、読書が読解力の向上に不可欠なことから、幼児期の絵本の読み聞かせ会、学校図書館との連携、町内各小学校を訪問し行うお話しキャラバンなどを実施し、「知の拠点」として図書館サービスの充実を図ります。

文化財保護については、町指



環が生まれるよう努めます。

また、平成25年度から平成29年度を期間とする第3次鹿追町生涯学習計画の策定と、町部局との連携によるジオパーク登録認定に向けた取り組みに着手します。